



2026年(令和8年)

4月号

発行  
青森大学  
広報室

〒030-0943

青森県青森市  
幸畑2-3-1

TEL 017-738-2001

FAX 017-738-0143

青森大学 検索  
青森大学公式サイト



# 地域とともに生きる大学に

## 青森本校 むつキャンパス 地域フォーラムで報告や意見交換

本学が主催する「青森地域フォーラム」と「むつ下北地域フォーラム」が開催された。青森地域フォーラムは2月21日に青森本校で、むつ下北地域フォーラムは2月15日にむつキャンパスで行われ、地域住民や関係者、学生らが参加した。地域フォーラムは、2014年にスタート。「地域住民、行政機関、学生の三者が交流する場として開催している。これまで、地元市長ら自治体関係者も参加し、年度活動の報告や意見交換を実施してきた。

両フォーラムでは、青森大学に関わりのある有識者によるクロストークが行われ、会場を盛り上げた。



榊引研究室 参院選プロジェクト発表 (青森)



クロストークの様子 (青森)

### 令和7年度 第12回青森地域フォーラム

#### 【研究・活動報告】

- ・森 宏之:総合経営学部特任教授  
浪岡地区空き家活用宿泊事業の調査研究  
一分散型ホテルの活用による地域活性化について
- ・榊引研究室:社会学部  
参院選プロジェクト2025
- ・藤 公晴:社会学部教授  
平内町における研究・活動報告
- ・奥山 瑛斗:ソフトウェア情報学部4年  
新湯プロジェクトに関わって
- ・服部 智久:薬学部教授  
青森市内での薬用ニンジン栽培に関するチャレンジ
- ・菅野 文香(3DQ):ソフトウェア情報学部3年  
3Dプリンターを活用した地域貢献

※学年は2026年3月時点

第12回青森地域フォーラムのテーマは「デジタル時代における青森大学の挑戦」だった。本学は、文部科学省の大学・高専機能強化支援事業に採択され、デジタル人材の育成に取り組んでいる。ITスキルの重要性が高まる中、デジタル技術を身に付けた学生の地域での活躍に期待が寄せられている。

フォーラムでは西秀記青森市長の祝辞(代読・青森市企画部長金谷浩光氏)も紹介された。

## 令和7年度 地域貢献賞

令和7年度地域貢献賞授賞式が青森地域フォーラムの中で行われた。本学は、優秀な地域貢献活動を展開した学生グループや個人をたたえ、地域貢献賞という表彰事業を行っている。最優秀賞に選ばれたのはソフトウェア情報学部3年の菅野文香さん(写真右)が



野文香さん(写真右)が所属する3DQ「3Dプリンターを活用した地域貢献」。フォーラムで活動報告も行われた。そのほか、優秀賞・新人賞・奨励賞の授与が行われ、全12の団体や個人が表彰された。

裏面で第1回むつ下北地域フォーラムの研究・活動報告を紹介。

# 開学4年目、初のフォーラム むつキャンパス

本学むつキャンパスは令和七年度で開学4年目を迎え、2月15日に単独の地域フォーラム「第1回むつ下北地域フォーラム」を開催した。

これまで4年にわたり活動や支援に関わってきたむつ市役所、企業関係者、学生らが参加し、大学と地域について意見を交わした。

開会にあたり、山本知

也むつ市長が祝辞を述べた。参加者からは、大学生が地域に加わったことで街に新たな活気が生まれ、この4年間で地域の変化を感じるという声がかれた。

会場では学生による活動発表などが行われ、参加者との意見交換を通じて、むつキャンパスの存在意義を改めて確認する機会となった。

今後の取り組みや関係の強化に期待する声も上がった。

本キャンパスは今年3月、初めての卒業生を送り出した。学生たちは学びながら地域で活発に活動。県庁やむつ市役所、下北地域の村役場、地元一般企業などに就職を決めた。

倉知哲平さん（青森本校ソフトウェア情報学部）



ご当地キャラクターで地域振興の発表（むつ）



下北地域における異年齢交流活動の推進（むつ）

## 令和7年度 第1回むつ下北地域フォーラム

### 【研究・活動報告】

- ・沼澤 幸織彩:社会学部3年、工藤 静々流:総合経営学部3年  
下北地域における異年齢交流活動の推進
- ・小寺 将太:社会学部 特任講師  
小向 瑠菜:社会学部4年、沼澤 幸織彩:社会学部3年  
地域と学びをつなぐインターンシップ-むつキャンパスの取り組みと学生の活動報告-
- ・吉田 風和:社会学部1年  
ご当地キャラクターで地域振興
- ・海沼 結人:青森本校 社会学部1年、齋藤 翼:青森本校 ソフトウェア情報学部1年  
『ニコニコ通り商店街』での取り組みについて
- ・下條 真司:ソフトウェア情報学部 教授  
むつ市スマートシティ第2フェーズに向けた取り組み
- ・倉知 哲平:青森本校 ソフトウェア情報学部3年  
「津軽三味線を用いたインタラクティブプロジェクションマッピング」

### 【幕間】

- ・中川原 悠斗、三井 映月:社会学部1年  
会津まつり参加報告
- ・工藤 和彦:社会学部 教授  
ねぶた学 報告
- ・磯川 蓮治:総合経営学部2年、深沢口 心羽:社会学部2年  
地域貢献演習 CM発表
- ・勅地 透也:総合経営学部4年  
卒論卒研のポスター展示について
- ・沼田 郷:総合経営学部 教授  
硬式野球部 台湾遠征報告

※学年は2026年3月時点



津軽三味線を用いたインタラクティブプロジェクションマッピング

の研究・活動報告「津軽三味線を用いたインタラクティブプロジェクションマッピング」では、フィッ

シュボウルルーム（もととはプラネタリウム施設）のドームに鮮やかな映像を映し出した。